

自分らしい

生き方の

実現を目指して

キャリア・パスポートを活用したキャリア教育の充実に向けて

キャリア教育とは？

キャリア・パスポートとは？

キャリア形成とは？

令和2年4月から、全ての小学校・中学校・高等学校等において、「**キャリア・パスポート**」の活用が始まりました。「キャリア・パスポート」は、小学校、中学校、高等学校段階の**キャリア教育**をつなぎ、12年間の見通しをもって、より効果的に児童・生徒の**キャリア形成**を図っていくことを目的とするものです。

本リーフレットでは、「キャリア・パスポート」の考え方や活用の仕方、それぞれの発達段階で育成することが求められる**基礎的・汎用的能力**などを紹介しています。

キャリア教育は、児童・生徒が、将来、社会の中で自分の役割を果たしながら、**自分らしい生き方を実現できる力**を育む取組です。本リーフレットを参考に、各学校での取組を改めて見つけ直し、キャリア教育をより効果的で充実したものにしていきたいと思います。

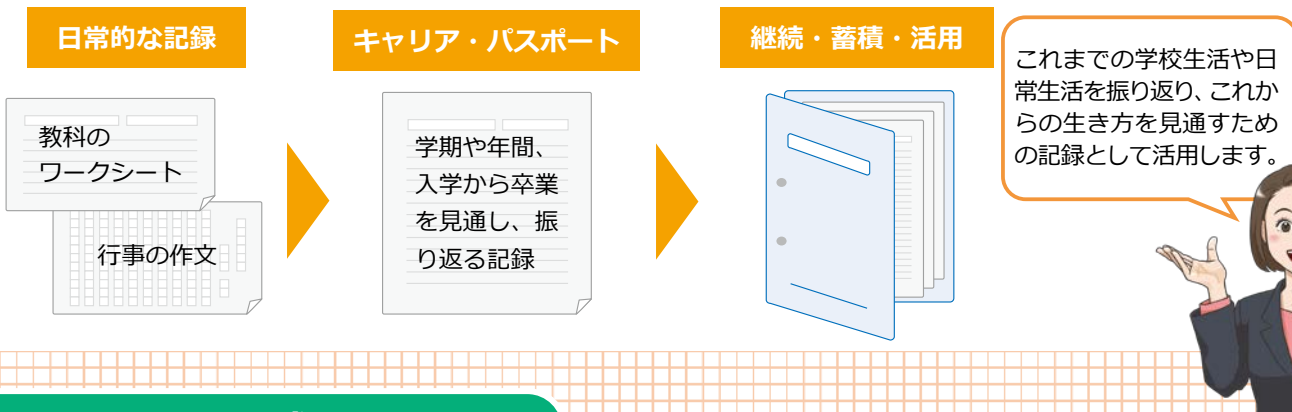


令和2年4月
東京都教育委員会

キャリア・パスポートって？

「キャリア・パスポート」は、児童・生徒の学習活動等の振り返りの記録を、キャリア形成の視点から捉え直したものです。「学期のまとめ」、「一年の振り返り」などの形でこれまで各学校で取り組んできたことを大切にしながら、キャリア教育の視点から見つめ直してみることが、スタート地点となります。

そして、その記録を、学年単位や校種単位で終わらせず、小学校から中学校へ、中学校から高等学校へと継続的に蓄積していきます。この記録の蓄積を基に、児童・生徒は、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりして、自己評価を行うとともに、主体的に学びに向かう力を育み、自己実現を図っていくことができます。また教師は、児童・生徒一人一人をより深く理解し、発達の段階に応じて系統的に指導するための資料として活用することができます。

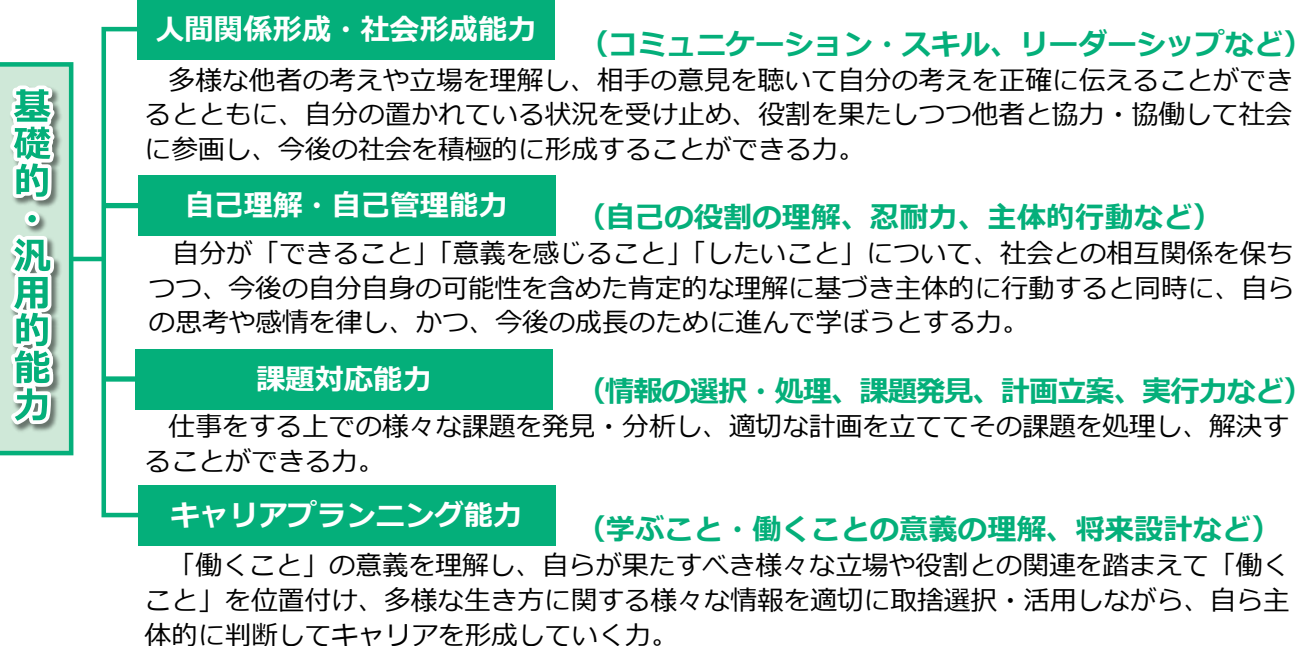


キャリア形成って？

「キャリア」とは、「人が、生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見だしていく連なりや積み重ね」です。「キャリア教育」は、学校の教育活動を通じて、児童・生徒一人一人の発達の段階に応じ、「キャリア」を形成させていく取組であり、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を育成することを目的としています。

キャリア教育で育成を目指す力は、「基礎的・汎用的能力」と呼ばれ、「人間関係形成・社会形成能力」、「自己理解・自己管理能力」、「課題対応能力」、「キャリアプランニング能力」の4つに分類されます。

キャリア教育を充実させるためには、基礎的・汎用的能力を児童・生徒が常に意識し、自己を見つめられるようにすることが重要です。そして、そのための効果的なツールが、キャリア・パスポートです。



キャリア・パスポートを活用したキャリア教育の充実に向けて

キャリア・パスポートにこんな工夫を

●「なりたい自分」のイメージをもつ

将来、どのような自分になりたいのか、具体的なイメージをもつことが大切です。この場合の「将来」を、「1年後」や「20年後」など、多様に設定すると効果的です。

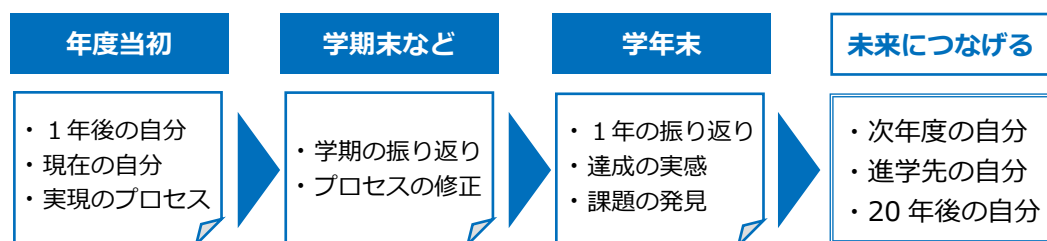
●「これまでの自分」を振り返る

「反省」も必要ですが、これまでの学びや成長を自覚・実感できることがより重要です。自分が取り組んできたことの成果を客観的に捉えることで、自信や自己肯定感をもつことにつながります。

●「現在の自分」を見つめる

「なりたい自分」と「これまでの自分」の間にいる「現在の自分」を見つめることで、目標をより具体的なものにしたたり、学習や生活への意欲を高めたりすることができます。

自分を見つめる際、「基礎的・汎用的能力」を意識させることが効果的です。日々の学習や体験を、基礎的・汎用的能力の育成と結び付けることが、キャリア・パスポートの大きな役割です。



目標や達成したことを、できるだけ具体的に記録し、自分自身を客観的に見つめられるようにすることが大切です。



キャリア教育にこんな工夫を

●教科の学習で…

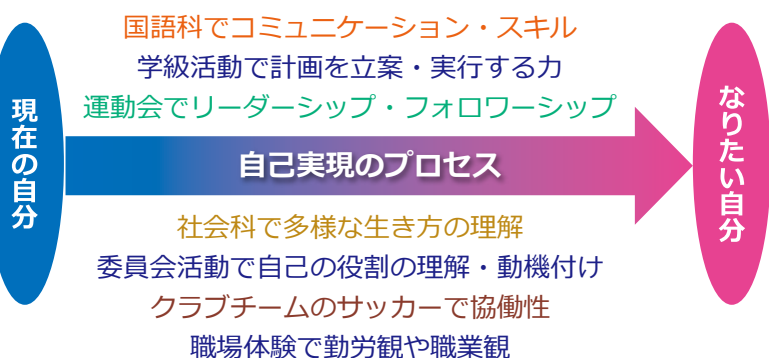
各教科の特性に応じて、どのような場面・内容で、基礎的・汎用的能力のどの力を育成できるかを把握し、実施していきます。教科の学習活動や学習内容が、未来の自己実現にどのように結び付くのかを自覚させることで、主体的な学びにつなげることができます。

●特別活動で…

特別活動はキャリア教育の要となる教育活動です。各教科等での学びが生活の中で生かされることを実感したり、学びを活用して課題を解決したりする中で、基礎的・汎用的能力を育ていけるよう、全校体制で計画・実施していくことが必要です。

●学校外の活動で…

学校外での活動も自己の一部として自覚させることが大切です。児童・生徒がどのような学びや体験をしているのかを教師が把握することで、個に応じたより効果的な指導につなげることもできます。



「自己実現のプロセス」は、児童・生徒と教師の双方が、キャリア形成を意識することで成り立ちます。それぞれの活動を通じて身に付く資質や能力を明確にし、意図的・計画的にキャリア教育に取り組んでいくことが大切です。



* 特別支援学校においては、学校生活支援シート（個別の教育支援計画）及び個別指導計画により「キャリア・パスポート」の目的に迫ることができると考えられる場合は、児童・生徒の障害の状態や特性及び心身の発達の段階等に応じた取組や適切な内容とすることができます。

キャリア・パスポートの例

小学校（第3学年）の例

| | | | | | | | | | | |
|---|--|--|--|--|-------|-----|-----------|--------|--|--|
| 3年生 1年間をふりかえりましょう | | | | | 名前 | | | | | |
| 〇なりたい自分にならなければならぬか、ふりかえりましょう。 | | | | | | | | | | |
| (学習) | | | | | | | | | | |
| (生活) | | | | | | | | | | |
| (家) | | | | | | | | | | |
| この一年、どのくらいできたか、〇をつけましょう。 | | | | | よくできた | できた | あまりできなかった | できなかった | | |
| ①自分の気持ちを、友だちにわかりやすく伝えることができましたか。 | | | | | | | | | | |
| ②クラスや友だちのために、進んで行ったり、協力したりできましたか。 | | | | | | | | | | |
| ③しらべたいことや知りたいことがあるとき、自分から進んで先生にしつもんしたり、本でしらべたりできましたか。 | | | | | | | | | | |
| ④しよらいのゆめや目ひように向かっがんばったり、べんきよのやり方をくふうしたりできましたか。 | | | | | | | | | | |
| みんな（学級）のためにがんばったこと | | | | | | | | | | |

中学校（第1学年）の例

| | |
|------------------------------|---------------|
| 〇なりたい自分になるために身についたと思う力と、その理由 | |
| 身についたと思う力 | 理由 |
| 〇2年生になる自分への応援メッセージ | |
| 卒業する時の自分（15歳の私）を想像しよう | |
| 卒業するときに、どんな自分になっていたか | |
| 15歳のあなたが選んでいる道（進路・将来の夢・職業など） | |
| そう思った理由やきっかけ | |
| 15歳でなりたいた自分にならぶために、今、頑張りたいこと | |
| 先生からのメッセージ | 保護者などからのメッセージ |
| メッセージを読んで気付いたこと、考えたこと | |

高等学校の例

| | | | |
|--|-------------|----------------------------|--------------|
| 一年を見直し、振り返る | | 〇年 | |
| 記入日 年 月 日 | | | |
| 〇1年のはじめに、自分のどんな力を伸ばしたいかを考えよう。 | | | |
| （※授業の「高校生のかんざん」の中にある「高校生活でさらに伸ばしてほしい能力」等を参考にしてください。） | | | |
| 人間関係形成・社会形成能力 | 自己理解・自己管理能力 | 課題対応能力 | キャリアプランニング能力 |
| <理由> | <理由> | <理由> | <理由> |
| 〇1年間を振り返って、一番心に残っていることをまとめよう。 | | | |
| 記入日 年 月 日 | | | |
| (授業) | なにが | どうして(理由) | |
| (行事) | | | |
| (部活等) | | | |
| 〇1年間を振り返って、自分自身の成長をまとめよう。 | | | |
| 人間関係形成・社会形成能力 | 自己理解・自己管理能力 | 課題対応能力 | キャリアプランニング能力 |
| 1年後の私 | どんなふうになりたいか | そのために今から何をするか | |
| 30歳の私 | | | |
| ()からのメッセージ | | | |
| 先生からのメッセージ | | 先生からのメッセージを読んで気付いたこと、考えたこと | |

●キャリア教育の指導体制

効果的なキャリア教育を実現するためには、まず、校内の推進体制を整える必要があります。教育活動のどのような場面でどのような力を育成するのかを、教師全員で共有することが大切です。基礎的・汎用的能力から、特に重点的に指導するものを学校で設定するなどの工夫も効果的です。

●キャリア教育の指導計画

校種間の接続を意識してキャリア教育の指導計画を見直すことも大切です。小・中・高12年間の系統性を踏まえ、いつまでに、どのような力を身に付けさせるのか、そのために何をするのかを、全教師が共有し、計画的にキャリア教育に取り組むことが必要です。

●キャリア・パスポートの留意点

キャリア・パスポートには、児童・生徒の内面に関わる個人情報が含まれると想定されます。ファイルの保管場所や管理の方法等について校内で統一したルールをつくり、トラブルのないよう配慮することが大切です。

【「キャリア・パスポート」例示資料等について】文部科学省ホームページ

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/career/detail/1419917.htm

小学校段階の目標（キャリア教育で育む力）

* 各段階におけるキャリア教育で身に付けさせたい力の例を示しています。児童・生徒の実態に応じて、学校や学年の目標を設定したり、各教科等で取り組む内容を明確にしたりして、学校全体でキャリア教育に取り組んでいくことが大切です。

| | 小学校第1学年・第2学年 | 小学校第3学年・第4学年 | 小学校第5学年・第6学年 |
|------------------|---|--|---|
| | <p>好きなこといっぱい できることいっぱい 学校って楽しいな 低学年では、自分の好きなこと、得意なこと、できることを増やし、様々な活動への興味・関心を高めながら意欲と自信をもって活動できるようにすることが大切です。</p> | <p>自分と 友だちと みんないっしょに 友達のよさを認め、協力して活動する中で、自分の持ち味や役割が自覚できるようにすることが大切です。</p> | <p>挑戦する やりぬく 夢・希望を広げる 高学年では、苦手なことや初めて挑戦することに失敗を恐れず取り組み、そのことが集団の中で役立つ喜びや自分への自信につながるようにすることが大切です。</p> |
| 社会形成能力 人間関係形成 | <p>● ともだちと なかよくしよう。 べんきょうやうんどう なんでもなかよく がんばろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> みんな仲良く学習したり遊んだりする 友達の気持ちを考える 身近な人々の生活に関心をもち、積極的にかかわる | <p>● 自分の気持ちを、友だちに分かりやすく伝えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達の気持ちや考えを理解しようとする 友達のよいところを認め 励まし合う 友達と協力して学習や活動に取り組む | <p>● 友達や家の人の話を聞くと、その人の考えや気持ちを考えよう。 ● 自分の考えや気持ちを、相手に分かりやすく伝えるように気を付けてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 規範意識をもち、社会におけるルールや相手との約束を守るなど信頼される行動をとろうとする 思いやりの気持ちをもち、相手の立場に立って考え行動しようとする |
| 自己管理能力 自己理解 | <p>● はじめてのことに ちゃれんじしよう。 さいしょはしんぱいだけど ゆうきをもってちょうせんしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の好きなことが言える 自分のよいところを見付け、自信をもつ してよいことと悪いことがあることが分かる | <p>● クラスや友だちのために、進んで行こうしたり、協力したりしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分のよいところを見付ける 自分の意見や気持ちを分かりやすく表現する してはいけないことが分かり自制する | <p>● 委員会、係、当番活動などで、自分から仕事を見付けたり、役割分担したりしながら、力を合わせて行動しよう。 ● 好きでないことや苦手なことでも、自分から進んで取り組もう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会と自己との関わりから自分の特徴に気付き、自分らしい生き方や憧れる生き方について考える 自分の思いや考えを、場に応じた態度で適切に伝えることができる |
| 課題対応能力 | <p>● わからないことは しつもんしよう。 みんながたずけてくれます どんどんしつもんしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業の準備や片付けをする 決められた時間や約束を守る 自分のことは自分で行おうとする | <p>● しらべたいことや知りたいことがあるとき、自分から進んで先生にしつもんしたり、本でしらべたりしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習等の計画を立てる 計画づくりの必要性に気付き、作業の手順が分かる 自分の仕事に対して責任を感じ、最後までやり通そうとする | <p>● 調べたいことや知りたいことがあるとき、自分から進んで資料や情報を集めたり、誰かに質問したりしよう。 ● 何かをするとき、計画を立てて進めたり、途中でやり方を工夫したり、見直したりしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動において課題や困難が生じた時に、解決方法を工夫して解決しようとする 生活や学習上の課題を見付け、自分の力で解決しようとする |
| キャリアプラン ニング能力 | <p>● すすんで べんきょうやおてつだいをしよう。 がっこうはもちろん いえでもべんきょうしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近で働く人の様子が分かり、興味・関心をもち 係活動や家での仕事などを通して、自分の役割の大切さが分かる 自分の好きなもの、大切なものをもつ | <p>● しょうらいのゆめや目標ひょうに向かってがんばったり、べんきょうや生活のし方をくふうしたりしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな職業や生き方があることが分かる 将来の夢や希望をもつ 働くことの楽しさが分かる | <p>● 自分の夢や目標に向かって、生活や勉強の仕方を工夫しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 将来のことを考える大切さが分かる 夢や目標に向かってあきらめずに努力することの大切さが分かる |

キャリア・パスポートでキャリア教育をつなぐ

これまでどのような力を身に付けてきたのか、今どのような力を身に付けるのか、この先どのような力につながっていくのか、それを児童・生徒と教師が意識することで、キャリア教育は充実します。キャリア・パスポートを活用して、発達の段階に応じたキャリア教育を充実させましょう。

小学校の段階は…… 社会的・職業的自立にかかる基盤形成の時期

- ◆自己及び他者への積極的関心の形成・発展
 - ◆身の回りの仕事や環境への関心・意欲の向上
 - ◆夢や希望、憧れる自己イメージの獲得
 - ◆勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の形成
- 「自分のよいところ、得意なこと、好きなこと、夢中になっていることは、なんだろう？」

中学校段階の目標（キャリア教育で育む力）

| | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 |
|------------------|--|---|---|
| 社会形成能力 人間関係形成 | <ul style="list-style-type: none"> ● 友達や家の人の意見を聞く時、その人の考えや気持ちを受け止めようとする。 ● 相手が理解しやすいように工夫しながら、自分の考えや気持ちを伝えようとする。 ● 自分から役割や仕事を見付け、分担するなど、周りの人と力を合わせて行動しようとする。 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・自己と他者の違いに気付き、尊重しようとする ・人間関係の大切さを理解し、コミュニケーション・スキルの基礎を身に付ける | <ul style="list-style-type: none"> ・他者に配慮しながら、積極的に人間関係を築こうとする ・自分の言動が他者に及ぼす影響について理解する | <ul style="list-style-type: none"> ・自己と他者の個性を尊重し、人間関係を円滑に進める ・リーダーとフォロワーの立場を理解し、チームを組んで互いに支え合いながら仕事をする |
| 自己管理能力 自己理解 | <ul style="list-style-type: none"> ● 自分の興味や関心、よいところや課題などについて、把握しようとする。 ● あまりやる気が起きない物事に対する時でも、自分がすべきことに取り組もうとする。 ● 不得意なことや苦手なことでも、自ら進んで取り組もうとする。 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・集団の一員としての役割を理解し、果たそうとする ・自分のよさや個性が分かる ・自分の悩みを話せる人もつ | <ul style="list-style-type: none"> ・社会の一員としての自覚が芽生えたとともに、社会や大人を客観的に捉える | <ul style="list-style-type: none"> ・社会の一員としての参加には義務と責任が伴うことを理解する |
| 課題対応能力 | <ul style="list-style-type: none"> ● 分からないことやもっと知りたいことがある時、自分から進んで資料や情報を収集することができる。 ● 何かをする時、見通しをもって計画的に進めることができる。 ● 何か問題が起きた時、次に同じような問題が起こらないようにするために、何を改善すればよいか考えている。 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・産業、経済等の変化に伴う職業や仕事の変化のあらましを理解する ・よりよい生活や学習、進路や生き方等を目指して自ら課題を見いだしていくことの大切さを理解する | <ul style="list-style-type: none"> ・上級学校、学科等の種類や特徴及び職業に求められる資格などの概略が分かる ・必要に応じて、獲得した情報に創意工夫を加えて発表や発信を行う | <ul style="list-style-type: none"> ・生き方や進路に関する情報を、様々なメディアを通して調査、収集、整理し活用する ・学習や進路選択の過程を振り返り、次の選択場面に生かす |
| キャリアプラン ニング能力 | <ul style="list-style-type: none"> ● 今学校で学んでいることと自分の将来とのつながりを考えるなど、学ぶことや働くことの意義について考えている。 ● 自分の将来について具体的な目標を立て、その実現のための方法について考えている。 ● 自分の将来の目標に向かって、生活や勉強の仕方を工夫するなど、努力している。 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・将来に対する漠然とした夢や憧れを抱く ・様々な職業の社会的役割や意義を理解し、自己の生き方を考える | <ul style="list-style-type: none"> ・将来への夢を実現する上での現実の問題に直面し、模索する ・体験等を通して、勤労の意義や働く人々の様々な思いを理解する | <ul style="list-style-type: none"> ・将来設計を実現するための困難を理解し、それを克服するための努力に向かう ・将来の職業生活との関連の中で、今の学習の必要性や大切さを理解する |

中学校の段階は…… 現実的探索と暫定的選択の時期

- ◆ 肯定的自己理解と自己有用感の獲得
- ◆ 進路計画の立案と暫定的選択
- ◆ 興味・関心等に基づく勤労観・職業観の形成
- ◆ 生き方や進路に関する現実的探索

「私の自己PR」「これまでの振り返って成長できたと思うこと」「30歳の時どんな自分になっているだろう」

高等学校段階の目標（キャリア教育で育む力）

| | 第1学年 | 第2学年 | 第3学年 |
|------------------|--|---|--|
| 社会形成能力 人間関係形成 | <ul style="list-style-type: none"> ● 友達や家の人の意見を聞く時、相手の立場を考慮して、その人の考えや気持ちを受け止めようとする。 ● 自分の考えや気持ちを整理し、相手が理解しやすいよう工夫して、伝えようとする。 ● 人と何かをする時、自分がどのような役割や仕事を果たすべきかを考え、分担しながら、力を合わせて行動しようとする。 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・身近な他者に思いを伝え、互いに支え合い、分かり合える人間関係を構築する ・他者の価値観や個性を尊重する必要性を理解する | <ul style="list-style-type: none"> ・人間関係の中で役割を果たすとともに、自分の考えを伝え、相手の能力を引き出そうとする ・他者の価値観や個性を肯定的に認め、受容する | <ul style="list-style-type: none"> ・多様な意見を調整し、相手やチームのよさを引き出して成果へつなげようとする ・他者の価値観や個性を客観的に理解し、認め合おうとする |
| 自己管理能力 自己理解 | <ul style="list-style-type: none"> ● 自分を振り返り、よいところを伸ばし、課題を克服しようとする。 ● 自分がすべきことがある時に、喜怒哀楽の感情に流されず行動を適切に律し、それに取り組もうとする。 ● 不得意なことでも、自ら進んで、取り組もうとする。 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・身近な人間関係における役割を自覚し、積極的に役割を果たす ・学習活動を通して自己の能力・適性を理解して、よいところを伸ばし、課題を克服しようとする | <ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージに応じた個人的・社会的役割や責任を理解し、自分の役割を果たそうとする ・自分の職業的な能力・適性を理解し、前向きに進路を検討する | <ul style="list-style-type: none"> ・個人的・社会的役割や責任を客観的に理解し、自分の思考や感情を律して取り組もうとする ・自己の意志と責任で当面の進路を主体的に選択する |
| 課題対応能力 | <ul style="list-style-type: none"> ● 調べたいことがある時、自ら進んで資料や情報を収集し、信ぴょう性が高く、かつ、必要な情報を取捨選択しながら活用できる。 ● 何か問題が起こった時、次に同じような問題が起こらないようにするために、原因を調べ、課題を発見し、解決のための工夫ができる。 ● 何かをする時、見通しをもって計画し、評価・改善を加えながら行動ができる。 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・自分を生かし、役割を果たす上での課題を知り解決策を検討する ・必要な情報を収集し、仮説を立て、自分の考えを示して結論を導き出そうとする | <ul style="list-style-type: none"> ・理想と現実との間で葛藤する経験等を通して、困難を克服するスキルを身に付ける ・収集した情報を客観的に評価し、問題解決に向けて根拠をもって結論を導き出そうとする | <ul style="list-style-type: none"> ・広い視野から問題を構造化し、解決に向けて取り組もうとする ・必要な情報を選別・評価し、知識と組み合わせる効果的・現実的な解決策を提案する |
| キャリアプラン ニング能力 | <ul style="list-style-type: none"> ● 学ぶことや働くことの意義について考えたり、様々な働き方や生き方があることを理解したり、今学校で学んでいることと自分の将来とのつながりを考えたりしている。 ● 自らの将来について具体的な目標を立て、社会の現実を視野におさめながら、その実現のための方法について考えている。 ● 将来の目標の実現に向けて具体的な行動を起こしたり、それを振り返って改善したりする。 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・多様な勤労観・職業観を知り、勤労・職業に関する理解を深める ・奉仕体験活動等の社会参加や上級学校での学習体験等に取り組む、進路について考える | <ul style="list-style-type: none"> ・就業体験等を通して、自分なりの勤労観・職業観をもつ ・学習活動を通して、学ぶこと・働くことの意義とつながりを考え、具体的な目標を立てる | <ul style="list-style-type: none"> ・職業についての総合的・現実的な理解に基づいて将来を設計し、進路計画を立案する ・将来設計に基づいて、今取り組むべき学習や活動を行う |

高等学校の段階は…… 現実的探索・試行と社会的移行準備の時期

- ◆ 自己理解の深化と自己受容
- ◆ 将来設計の立案と社会的移行の準備
- ◆ 選択基準としての勤労観・職業観の確立
- ◆ 進路の現実吟味と試行的参加

「卒業後の自分を想像しよう」「いつ・何に取り組むか考えよう」「将来どのような生き方をしたいか考えよう」